

平成 13 年 12 月 17 日

第 12 回 IES 若手の会 報告書

第 12 回 IES 若手の会 幹事

笠井俊信（岡山大学）

小尻智子（名古屋大学大学院）

第 12 回 IES 若手の会は，37 名の若手研究者・学生の方々にご参加いただき，12 月 7 日（金）から 12 月 9 日（日）にかけて愛知県にて開催されました．

以下はその報告です．

第 12 回 IES 若手の会

日時：2001 年 12 月 7 日（金）～ 12 月 9 日（日）

会場：愛知県労働者研修センター

〒489-0007 愛知県瀬戸市川平町 78 番地 0561-48-2611

目的：

- 1．若手研究者の交流を深める
- 2．研究の悩み・疑問・位置づけの整理
- 3．ディスカッション能力を養う

形式：合宿形式（研究会形式中心）

若手の会 HP：<http://www.ei.sanken.osaka-u.ac.jp/~kasai/yw01>

プログラム

12 月 7 日（金）

20:00 プレディスカッション

テーマ：「2010 年の教室に期待すること」

12 月 8 日（土）

9:00 開会の挨拶

9:10 システムデモセッション 司会：笠井 俊信（岡山大学）

9:10 - 10:20 稲垣 忠 （関西大学）

10:30 - 11:40 吉川 清士 （静岡大学）

13:00 研究会セッション 1 司会：小尻 智子（名古屋大学）

13:00 - 13:30 金山 茂雄 （拓殖大学）

「組織形成に及ぼす認知・知覚情報の過程処理システムの検討」

13:30 - 14:00 吉岡 貴芳 （名古屋工業大学）

「誤りパターンを用いた数式計算演習における教師支援システムの構築」

14:00 - 14:30 林 伸幸 （（株）トヨタ車体）

「『自己実現サポートシステム』の構築と事業化」

- 14:40 研究会セッション2 司会：林 雄介（大阪大学）
14:40 - 15:05 伊藤 泰樹（名古屋大学）
「協調学習空間における他者注目を支援するインタフェースの構築」
15:05 - 15:30 福本 徹（東京工業大学）
「メタデータ型画像データベースにおける記述と検索行動について」
15:30 - 16:00 加藤 由香里（電気通信大学大学院）
「学術論文の講読における視聴覚情報の活用について」
16:10 研究会セッション3 司会：越智 洋司（徳島大学）
16:10 - 16:40 金子 大輔（名古屋大学）
「フリースクールにおけるICT利用を対象とした質的研究」
16:40 - 17:10 湯浅 且敏（中京大学）
「電子メディアを用いた自己説明活動の外化効果」
17:10 - 17:40 益川 弘如（中京大学）
「協調的な知識構成支援システムを活用した授業実践と評価」
18:30 懇親会

12月9日（日）

- 10:00 まとめの会
第13回 IES 若手の会について
11:00 閉会の挨拶

各セッションの詳細

<プレディスカッション>

テーマ：「2010年の教室に期待すること」

参加者全員の共通の興味である教育システムの観点から、今後学校教育がどのように変移していくかを討論しました。最初に教員養成系大学の大学生（10年後に実際に教壇に立っている立場から）の意見を紹介し、それらの意見と対比させながら教育システム関連の研究をする立場での意見をお互いに出し合い討論しました。

<システムデモセッション>

主旨：「研究の目的に応じたシステムデザインを考える」

セッションの目的：

1. 議論することの少ないシステムデザインについて考える機会を得る
2. グループディスカッション形式により、多くの視点からの発想を共有する
3. グループディスカッション形式により、参加者1人1人が自分の意見を発言する機会をより多く得る

セッションの展開：

1．研究概要の説明

発表者にシステムの観点から，“誰が”“何を”“何を”“どのような戦略で支援する”
か，を中心に説明してもらう．

2．研究についての質疑応答

3．グループディスカッション

グループごとに研究概要に対するシステムデザインを考える．ここでのシステムデザインとは，具体的なユーザインタフェースイメージの作成と，ユーザとシステムとのインタラクション内容の設計とする．

4．システムデモ

5．全体ディスカッション

グループ構成（敬称略）：

グループ A 小尻，益川，林（伸），宮下，中山

グループ B 越智，湯浅，加藤，吉川，吉田，伊藤（泰）

グループ C 林（雄），金子，吉岡，梅村，田中，李

グループ D 光原，高橋，清水，行本，窪田

グループ E 長谷川，福本，金山，鈴木，藤原

グループ F 中野，三好，伊藤（智），武内，ソパート

システムデモセッション考察：

発表者が自分の知りたいこと，参加者にディスカッションして欲しいことを明確に示してくれたのでグループディスカッションはスムーズに焦点を絞って行われていました．また，昨年度の IES 若手の会に参加しグループディスカッションを経験した人（各グループの先頭）に各グループのまとめ役になってもらうことで，メンバー全員が参加した活発なディスカッションができたようです．グループディスカッション中，発表者には各グループをまわってもらいグループからの質問に対応しつつディスカッションを観察してもらいました．時間の都合上全体ディスカッションでは，各グループでまとめた内容について十分に発表してもらうことはできなかったのですが，グループディスカッション中の観察で参加者のアイデアはほぼ発表者に伝わったようです．最後に，各グループの成果物（ラフスケッチ程度の物）が渡されました．

<研究会セッション>

考察：

1人あたりの持ち時間が30分（発表20分，質疑10分を目安）だったのですが，9件の発表のほとんどで質疑応答の途中で打ち切らなければならない程，会場からは活発にさまざまな研究観点からの意見が出されました．

< 懇親会 >

IES 若手の会の2日目，12月8日（土）の18：30より会場（愛知県労働者研修センター）のレストランにて懇親会が開かれました．時間の都合により研究会セッションで聞けなかったこと，研究会セッションで発表されなかった研究内容等の話題で盛り上がり，若手研究者・学生間の交流を深める非常に良い機会になりました．

来年度の IES 若手の会について

来年度の IES 若手の会の運営については，今年度と同様に2人の幹事（企画係と会場係）を中心とした博士課程以上のコアメンバーで行っていくことになりました．来年度の幹事は，笠井俊信が会場係となって継続し，企画係を新しい人をお願いします（人は未定）．決まり次第ご報告させていただきます．

謝辞

最後になりますが，人工知能学会知的教育システム研究会の後援によって，本会の企画・運営を円滑に進めることができました．ここに御礼申し上げます．

また，熱心に討論に参加いただいた方，運営にご協力いただいた方をはじめとして様々な角度から積極的に本大会にご参加いただき盛り上げてくださった皆様，さらに，過去これまでの IES 若手の会を成功に導き，有益なノウハウを残してきていただいた歴代の漢字の先生方に厚く御礼申し上げます．

平成 13 年 12 月 17 日

第 12 回 IES 若手の会 収支報告

第 12 回 IES 若手の会 幹事
笠井俊信（岡山大学）
小尻智子（名古屋大学大学院）

収入

参加費	313,700	宿泊費，食費，懇親会費
学会補助	50,000	
前年度繰越金	1,381	
小計	<u>365,081</u>	

支出

宿泊費	88,600	
朝食（8 日，9 日）	27,090	
会場費	13,500	
昼食（8 日）	26,880	
懇親会費	157,133	
雑費	14,031	ファイル代，名札代など
参加者への返金	29,000	懇親会費の返金
小計	<u>356,234</u>	

残金 8,847